



講師：ファビオ・ニョッキ氏
(エトロ社営業部長)

…ファッションとは自分自身の在り方。エトロがエトロとして発展していくためには、さらにエトロらしく、つまり自分たちのスタイルの在り方を強調していかなければならない。

■神戸文化短期大学服飾学科&
神戸ファッション専門学校
'98 ファッションフェア

1/25 (SUN) 11:00AM~1:00PM~3:00PM~

ミラノ—神戸・ファッション・
ビジネス・シンポジウム

日本貿易振興会、(財)神戸ファッション協会、神戸市主催で開催されたファッションシンポジウム。ファッションナブル&エレガンスという形容詞で飾られることが多い神戸シティだが、はたしてその実態はいかに？ 世界が認めるファッション都市・ミラノの、これまたファッションブランドとして世界的成功を納めているエトロ社営業部長基調講演、神戸ファッションに熱い想いを持つメンバーによるシンポジウムという2部構成で、ファッション都市神戸の未来の道しるべが描かれた。



「ファッション都市神戸のめざすもの〜
ミラノに学ぶファッションビジネス」

コーディネーター：吉田順一氏

(神戸大学経営学部教授)

パネリスト：ファビオ・ニョッキ氏、小泉一十三氏 (テキスタイル・プランナー)、川北俊治氏 (デザイナー) (写真左より)

KOBE
FASHION
最新事情

YOUNG FASHION SPIRIT

未来の神戸ファッションを担うたまご達の若い感性に拍手。2大校の学生作品ファッションショーが軽快なミュージックとともに繰り広げられた。



■田中千代
服飾専門学校

1/31 (SAT) 11:00AM~
2:30PM~

センタープラザ西館20周年

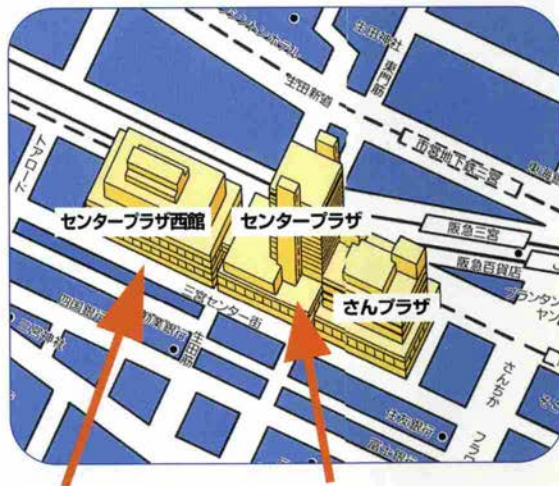
神戸・三宮から500店のおしゃれシンフォニー

装うこと、食べること、遊ぶこと。
都会のおしゃれな生活のためのすべてをラインナップした
“さんプラザ” “センタープラザ” “センタープラザ西館”
楽しさがエブリデイ渦巻いています。

20th Birthday Festa

3月センタープラザ西館は、お祭り広場。
抽選会やイベントなど盛り沢山でお待ちしています。
乞うご期待!!

- セール……………3/14 (土)～3/22 (日)
- 記念セールガラポン抽選会……………3/14 (土)～3/22 (日)
- ヴィッセル神戸サイン会……………3/ 8 (日)
- スペイン料理「パエリア」実演…3/14 (土)
- ジャンボマグロ解体……………3/15 (日)
- アルマシヨール(障害者による音楽演奏会) ……3/21 (土)
- 兵庫トヨタ自動車展示会……………3/20 (金)・21(土)・22(日)
- 宝塚歌劇イベント(サイン会) ……3/22 (日)
- NTTドコモ携帯電話展示即売会 ……3/27 (金)・28(土)・29(日)
- オーバブリッジ工事完成……………3/25 (水)



貸会議室

108人の大会議室から10人の小会議室までバラエティーに富んだ16室。

■お申し込み・お問い合わせは
TEL.078-391-1808
(株) 神戸サンセンタープラザ
(センタープラザ西館6階)

パーキング 313台

営業時間 入庫AM7:30～PM11:30
出庫AM7:30～PM12:00
(普通料金) 30分毎に250円
(夜間宿泊) PM12:00から
料金AM7:30まで、1,000円
(車両制限/高さ1.7m長さ4.9m幅2.0m重量2トン以内)

さんプラザ センタープラザ センタープラザ西館

■ 神戸復興トーク

燦々と輝くショッピング街 絵になる、おしゃれな三宮を



村上美穂さん
画家



若山富夫さん
(有) 網屋



小松原正直さん
(株) 神戸センター
代表取締役



安岡利美さん
神戸地下街 (株)
専務取締役



東村衛さん
(株) 神戸サンセンタープラザ
代表取締役副社長

三月二十八日、三宮センター街のアーケードが完成。三月二十日、さんちかのリニューアルオープン。センタープラザ西館も二十周年を迎える。画家の村上美穂さんを迎え、三宮の未来像をお話しいただいた。

★三宮センター街は東洋一

村上 神戸の役者もそろってきましたね。とくに三宮センター街のアーケードの完成をたくさんの方が待ち望んでいました。

小松原 震災前に、アーケードを修復することになっていたので、いよいよ着工しようというときに、震災に見舞われました。震災後、店主が集まって、アーケード修復を話し合いましたところ、震災前に決めたものより、一段上のアーケードをつくろうと一致団結しました。東入口の三十一のモニメント、カラー舗装、開閉した様子がカモメをイメージさせるアーケードなど、われわれも東洋一のショッピング街だと自負しております。

安岡 さんちかでは、通路の大理石にあわせて、天上には白いクロスも張り替え、震災復興のシンボルに考えています。食品街のスペースを広げ、オーベックファンはじめ神戸の名店に入っていたくことになりました。またハード面だけでなく、気持ちも新たにしよう、スタッフには接客マナーの研修を行っています。

若山 センタープラザ西館は今年二十周年を迎えます。三宮センター街のアーケード完成に合わせたイベントを検討中です。

東村 センタープラザ、さんプラザ、センタープラザの三棟にとっても、ファッショナブルなショッピング街を創るいい機会です。

村上 震災から三年間、神戸の街の絵を描いてきましたが、新しい画材が増えて喜んでおります。(笑)

★さんさん”と輝く オープニングイベント

村上 オープニングでは、どのような

ナガサワ文具センター

神戸市中央区三宮町1・4・15
TEL078・321・5600

株式会社 神戸センター

神戸市中央区三宮町1・5・27
TEL078・321・0161

株式会社 神戸サンセンタープラザ

神戸市中央区三宮町2・11・1・604号
センタープラザ西館6F
TEL078・331・5311

陶芸

古川 軒

神戸市中央区三宮町1・6・17
TEL078・331・2813

インナーファッション

有限会社 絹 屋

神戸市中央区三宮町2・11・1・224
TEL078・321・6288

イベントをお考えなのでしょう。

小松原 竣工式を白く輝くアーケードがいつそう引き立ちように、夕方に行きます。商店とアーケードの電色を使った幻想的な式典にしたい。

安岡 三月二十日から三十一日まで、さんちかりニューアルオープンセールを行います。一定金額の商品お買い上げの方には、抽選券をお配りします。海外旅行、ギフト券、堀内孝雄さんのミニコンサートのご招待券など、豪華商品が当たります。元永定正さんの作品展、佐川満男さんの公開生放送が目玉です。

若山 センタープラザ西館で、いま検討中なのは、館内で携帯電話の受信を可能にすることやFMムーブのスタジオを当館につくることです。

村上 元氣いっぱいの「さんさん」としたイベントをお願いしますよ。

★三宮は神戸の四番バッター

若山 神戸はハイカラな地域ですが、各エリアが金太郎飴のようになるのだ

め。エリアごとに打順を決めて、神戸全体がひとつのチームにならないと。シャトルバスで各エリアのアミューズメントを周遊出来ても面白い。センター街のアーケード完成は、神戸に「四番」が戻ったようで心強いですね。

安岡 時代にあつたショッピング街をつくろうと、さんちかでは二〇〇五年と二〇一四年にもリニューアルを予定しています。

東村 サンセンタープラザの立体と三宮センター街の平面、さんちかの地下をうまく連動させ新時代のショッピング街を創りましょう。空の時代にふさわしく「空港まで二十分の三宮」というキャッチフレーズもいい。また、情報発信・収集基地としてだけでなく、市民がゆとりを感じる生活空間を創らなければ。来春には神戸国際会館もオープンし、元町まで地下道で結ばれることになります。湾岸線が開通すれば、三宮の利便性はますます高まるでしょう。村上 おしゃれな三宮を描かせてください。(笑い)



3月28日期待のアーケードも完成し、神戸の「顔」として期待される

ギャラリー

あじさい

神戸市中央区三宮町1・9・1
TEL078・3331・1639

美術陶磁器

淡洲堂

神戸市中央区三宮町2・11・1・208号
センタープラザ西館2F
TEL078・3331・8758

とんかつ

武蔵

神戸市中央区三宮町2・11・2
TEL078・321・0634

コマツヤ

神戸市中央区三宮町2・10・24
センター街店
TEL078・331・1833
さんプラザ店
TEL078・331・0607

中川衣裳店

神戸市中央区三宮町1・5・29
TEL078・331・5333

さんちか21Cリニューアル 3月20日(金)オープン



公共通路交差点



3番街 ホームアンドライフとさんちかホール

2月16日～3月19日まで改装工事のため休業中のさんちかが、3月20日いよいよリニューアルオープンする。

今年開業33年を迎えるさんちかだが、今回の改装は21世紀に向けた第一段階のもので、今後第二、第三とステップをかさね、より充実したショッピングセンターへと変貌をとげる。リニールアルコンセプトは、アーバンデイリーストア(満足、快身ショッピング(利便)、ファン&リラクゼーション(快適)。

既存テナントの配置転換、新規テナントの入店とともに、各ゾーンの特色を強化。照明や床、天井などにもビジュアル的な工夫を凝らし、美しく明るいイメージで、買い物しやすい街を演出。

神戸のエントランス・三宮の顔的商业施設として、神戸商業に活力と元気を創出させるきっかけともいえる、さんちかのリニューアル。

神戸復興の追い風となり、新しい魅力にあふれた三宮のまちづくりの一環として大きく期待できそうだ。



6番街 ファッションコースト(新設)

santica

The New Heart of Kobe 神戸・三宮さんちか

〒650-0021神戸市中央区三宮町1丁目10番1号

TEL.078-391-3965

●営業時間/AM10:00～PM8:00

(飲食店はPM9:00まで)

株式会社

コーベブックス

代表取締役

北風 陸巨

〒650-0021

神戸市中央区三宮町1丁目10番1

TEL.078-391-4749

FAX.078-391-4734

コーベブックス

さんちか3番街ホーム&ライフ

TEL.078-391-4749

■オープニングイベント

さんちかリニユーアル記念
神戸新聞創刊100周年記念

元永定正作品展

とき 3月20日(金)～4月7日(火)

午前10時～午後8時

ところ さんちかホール

入場料 無料

具体美術作家として、今や不動の地位を確立された元永氏。エアブラシやスプレーを使用した明快な色彩とユーモラスな雰囲気を持つ氏独特の作品中、大作を中心に椅子などの立体作品と合わせて、約30点を一堂にご紹介します。

※その他、さんちか春の生け花展(4/9～4/14)、AMIKOBOEまんまるワイド公開生放送「佐川満男のブギウギ神戸丸」(3/20)など盛りだくさんイベント内容が目白押しです。

オープニングフェア

■期間

3月20日(金)～3月31日(火)

■方法

期間中お買い上げ3000円毎にスクラッチカードを進呈。抽選で左記の賞品をプレゼント!

■賞品

《特別賞》さんちかリニユーアル記念コンサート
ベア1000組「招待」

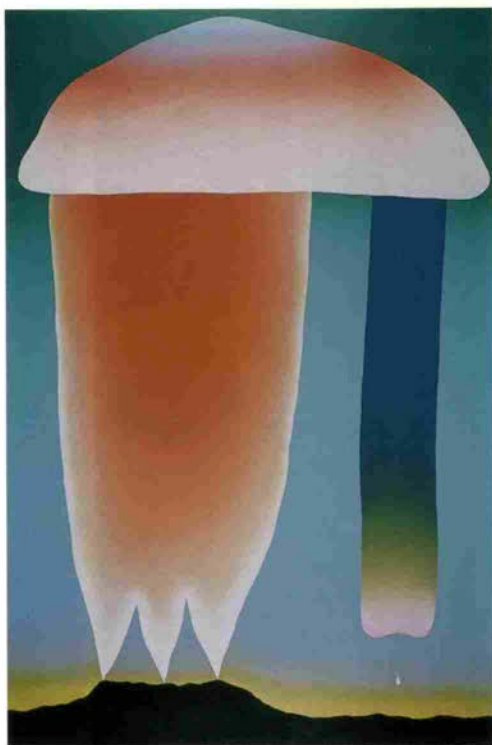
「堀内孝雄と仲間たち」

(4月15日18時30分)神戸文化ホール

《A賞》ミラノ・フィレンツェ

8日間の旅「招待」ベア5組

※その他豪華賞品を多数ご用意しております。



元永定正作「ヘラン ヘラン」(1975)

有限会社別館牡丹園

代表取締役

黄田 漢祥

〒650・0004

神戸市中央区中山手通1-4-23

レインボービル4階

TEL078・391・8888

FAX078・392・4506

別館牡丹園

さんちか味の街レストランモール
TEL.078-391-1930

株式会社ドンク

代表取締役

藤井 太一郎

〒658・0081

神戸市東灘区田中町3丁目19-14

TEL078・441・2041

FAX078・441・5858

ドンク

さんちか7番街スイーツメイト
TEL.078-391-3429

株式会社 北海

代表取締役

田鍋 恭治

〒657・0852

神戸市灘区大石南町2丁目2-12

TEL078・861・1656

FAX078・861・1718

北海フーズ

さんちか8番街フードバレット
TEL.078-392-1668

おかげさまで
60周年

60th
Anniversary



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-7 (北野坂)

TEL.078-221-3170・9426

FAX.078-221-9427

Spring Fair

'98 3/6(金) ~ 3/15(日)

10:00a.m. ~ 6:00p.m.

木下真珠パールサロン神戸

WHITE DAY

98ゴンチャロフ ホワイトデーのテーマ

It starts from 'Spring'

春から始まる



シャルロットヒル
クッキー9枚
600yen



ベルローリエ
クッキー4枚/チョコレート菓子5個
700yen



クリンス
フルーツゼリー10個/クッキー7枚
1,000yen

KOBE
Goncharoff
ゴンチャロフ

第4回

小磯良平大賞展



小磯良平大賞展

第4回 **公募** 小磯良平画伯の偉業をたたえて… ●
大賞賞金 ●1000万円

◆委託搬入期間=平成10年10月5日～11日 ◆直接搬入期間=平成10年10月16日～18日

主催/小磯良平大賞展運営委員会、神戸市、読売新聞社
後援/日本テレビ放送網、読売テレビ、財団法人神戸市民文化振興財団

●問い合わせ先: 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 読売新聞大阪本社事業局内「小磯良平大賞展」事務局 TEL06-366-1842~3
資料請求方法: 応募要項・申込書の請求は、90円切手を同封のうえ、上記の「同大賞展」事務局へ

■問い合わせ先

〒530・8551 大阪市北区野崎町5・9

読売新聞大阪本社事業局内

「小磯良平大賞展」事務局

TEL06・366・1842~3



アンダース・ホルムキスト

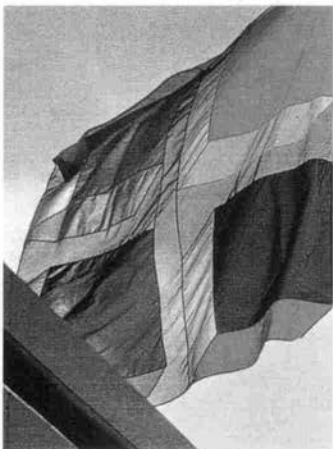
4/18~5/10 六甲アイランドでフラッグアート展 「サンタモニカの風を」

by アンダース・ホルムキスト

六甲アイランドにサンタモニカの風が吹く。4月18日から5月10日まで六甲アイランドで、フラッグアーティスト、アンダース・ホルムキスト氏による旗の展覧会「サンタモニカの風を」が開催される。アイランドセンター駅周辺をカラフルな旗で埋め尽くすもので、「春風の彫刻展」として話題を呼びそうだ。

ホルムキスト氏は米国サンタモニカを拠点に活躍中で、ブッシュ元大統領やアーノルド・シュワルツネッガーらのパーソナルフラッグを製作するかたわら、世界中で旗のインスタレーションを展開している。ロサンゼルス地震を体験した氏から「阪神大震災で被害にあわれた方々にサンタモニカの風をプレゼントし、励ましと新しい町づくりに協力できたらうれしい」とのメッセージが届き、この企画が生まれたという。

主催はフラッグアイランドプロジェクト実行委員会。プレビューとして3月31日（午後3時～4時30分）神戸ファッション美術館オルビスホールで作品公開とスライドレクチャーが行われるので、一足先に足を運んでみよう。参加の申し込みは、フラッグショップ&ギャラリー「E Ä」（TEL & FAX 078・858・1990）まで。





中村新シェフの 素材こだわり塾 第5回 緻密な冬

冬は濃縮の候。温度が低いというのは本当に密な味を作り上げてくれます。ポツリ太った牡蠣、鯛の腹身のトロリ感、甘くてしっかりした松葉蟹の脚、肉をとり巻く野鳥獣の皮下脂肪、蕪の水分、そして脂が少ないフグが精一杯肥える様子など、どれを挙げても密な味わいだと思われませんか。

私は暇が出来れば海へ行きます。冬の海はとても寂しい感じがするのですが、実は強いもののみを残すためのフィルターと見て取れることが多くあるのです。すぐに大きくなる類の魚は失せ、遅々としてその成長を年月に委ねるものたちだけが幅をきかせるその物凄さは、「畏怖」を感じずにはいられません。山は山で食べ物が殆どない中、木の皮や根、数少ない果実で過ごす野鳥獣たちの背中にも同じ様な感動を覚えてなりません。自然は尊いものですね。

今日はそんな緻密な味を持っている素材にこだわりました。まず河豚（フグ）という魚は誠に淡泊で、脂肪も少ないどちらともいえない味の無い部類なのですが、特徴は皮のゼラチン質、そして身の引き締まり具合に絞ることが出来ます。今回のメニューはどちらかという皮に重点を置いています。ゼラチン質とフォアグラが口の中で溶けて行くところを想像するだけでうっとりとしてしまいました。

一風変わった料理が2品目のスフレ仕立て。松葉蟹、オマールエビ、帆立貝柱はそれぞれ水温8℃以下が生育条件という正しく寒い時期の甲殻類たちですが、それをまずムースにして、卵白を多くいれてわざと膨れるようにオープンで焼きます。スフレだと焼いた器のままサーブスということになるのですが、今日は器から出してムースの様子を…。

関西では油目、関東では鮎並という名前のアイナメ。磯や砂地に住む魚の中では冬場活動するという、珍しい魚といえましょう。骨が細かくハモに対する調理法を代用する人もいますが、実際はそれほどでもなく、油で焼くととても美味しい魚で、フランス料理のバターソースにぴったりの味わいとなるのです。

秋から冬は野鳥獣のシーズンですが、今回登場の小鹿は獣と呼ぶに

RESTAURANT PATRIE

レストランパトリー

神戸市中央区二宮町4-20-5（ホテルビエナ神戸2F）
TEL.078-272-1313

菓子sパトリー

神戸市中央区北長狭通1-3-10
TEL.078-393-0222

はかわいそうなほど可憐な動物。ですから上品に仕上げましょう。ただ独特の香りがあるので赤ワインに一日漬け込み、骨を少しつけたまま焼いています。付け合わせに百舌鳥（モズ）の大好物のキンカンをフレッシュのトリュフとサラダにしました。

デザートは青りんごのムースをチョコレートのアクセントでどうぞ。寒い日にチョコレートは口溶けが程良く、りんごの酸味とうまくあってくれるので、とてもリズミカルなお菓子に变身します。

寒くならないと思う3年前の1月17日。未曾有という言葉を完全に覚えてしまったほど、心に深く「自然の力」が刻み込まれています。そんな強大な自然の一端に、私たち人間がいて、美味しい素材もあって、豊かな時間もある。とても不思議な気持ちで冬と戯れています。

ホテルビエナ神戸、レストランパトリーは2月25日に3周年を迎えました。震災復興と共に歩んで参りましたが、なお一層の努力と創意が求められる昨今、初心を忘れずよりよい食を作り続けたいと願っています。これまでと変わりますが、宜しくご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。



◆2度目の冬にこだわるメニュー◆

河豚の冷製とフォアグラの温製

甲殻類のスフレ仕立て

アブラメの葡萄酒焼きと冬野菜の素揚げ

小鹿の骨付きロースト、キンカンとトリュフのサラダ添え

青林檎のムース、チョコレート風味

亀井一成の

ズーム
IN
ZOO

NO.371

カバ茶目子(45才) の語り部



まあ可愛い！くるりんとつぶらな瞳がキュートなカバの赤ちゃんは、動物園の人気者

→現在避妊のためカバ茶目子は別居中。可哀そう…との声をよく聞きます（写真は出産当時親カバ子カバ仲よくよりそうの図）



「カバの茶目子さんを何故別居させているの…」

日曜、祝日に行っている「こども動物相談」に親子連れの家族からの質問が実に多いのです。

学童の頃、チンパンジーを見て、カバの赤ちゃんを見た時のことが忘れられない、とおっしゃる。

他の動物園での受入園が始まらないので避妊のため、とアダルトたちには話しますが、幼い頃見たカバ母子の姿を我が子にもと思つてのことでしょう。

「えっ、そんな可哀そう」

どなたもカバ茶目子さんに心を痛めて下さるのです。

「神戸にカバが来た日」

神戸王子動物園が開園したのは昭和26年、ボク19才ゾウ諏訪子と旧諏訪山動物園から現動物園へ越してきたのです。



ザブーン ザブーン。じゃれ合ってるのかと思いきや泳ぎながら交尾していたのです



自慢のカバ舎もめでたく完成して、借り住まい終了。オス出目男とメス茶目子も安心してデートできる

そして二年目、子供たちに買って欲しい希望動物を投票して貰ったら、カバ、シロクマ、ペンギンということになった。ゾウとキリンはいたので早速カバを注文する一方、カバ舎の設計、そして入札となった頃「鉄」の値上がりで予定の価格で落札するものがない。再入札するなどで着工が遅れに遅れた。そうこうするうち、えらいことにカバのオス出目男が約四十日の航海をおえて神戸にやってきたのです。

「カメイ君、カバをゾウの家で飼ってくれないか」

現在も長寿のインドゾウ諏訪子のいる南部屋にカバの出目男に入ってもらい、カバ舎完成を待ったのです。プールのないゾウ部屋だから、天井からホースでシャワーをかけ、ケンカしないよう諏訪子はクサリでくくられたまま、

「ドウ、ドウ、ドウ、怒るなよ」

オスの出目男が到着したのは昭和31年9月25日。ぼつぼつ夜は冷んやり遠路はるばる温かいアフリカからきたカバのこと保温にも苦心さんたんです。

「カバ舎落成めでたく出目男入居。昭和31年10月13日」

室内は3トンのカバがゆったり潜れるプールの部屋が2室、屋外は少し坂を下って大小プールのカバ舎は当時、最新設計で広く、自慢のカバ舎が完成したのです。以来43年間、風雪と地震にも耐え現在もそのままであり、翌年に嫁いできたメスの茶目子はこの17産し、2子を死なせましたが、15頭の子を育て現在も健在なのであります。

当時の山本鎮郎園長はカバ舎落成式にカバからのメッセージを式辞として読み上げられました。(以下原文のまま)

~~~~~

出目男君は四才ですが人間でいえば中学一年生位に当たります。

園長は屋外プールは日本一のひろい大きいものだ、ラッパを吹いておるようですが、ボクは東アフリカはナイル川上流の大きな湖のそばで生まれ育ちました。この湖はピクトリヤ湖といって日本の九州と四国を合わせたよりまだ大きい湖で、とてもヒロイデス。デスからボクは別にひろいとも思っていない。ボク達は今ここから永久に外に出られもせず、もちろん故郷の湖も見られず、なつかしい両親に会うこともできません。

どうか顔はミニクイですが、さびしいボク達をかわいがって下さい。

それにつけてもボク達に石をなげついたりする人がいるのはフシギです。神戸は屈指の大きな都市で、そこに住んでいる人はみなりっぱな方だと思つて、はるばる四十日のタビをつづけて来ました。

どうかカミクズや石ころなどでプールをヨゴさないよう、又いたずらをしてないようにして下さい。

この工事をしていただいた方々、大工さんや左官やさんにアツくお礼申し上げますの健康を祈ります。

## 「カバ水中交尾、出産、哺乳の事実」



頭でなく、足からこの世にコンニチワ！  
逆子出産でした

カバ園長で有名な東武動物園長西山登志雄くんとは無二の親友。

「陸で出産したとき、すぐ水中に突き落とすんだよ」

神戸では茶目子17産中三度陸で出産しており、ヘソの帯をなかせ母親につきまとう小さなカバの赤ちゃん

「まあ可愛い」人だかりが断えませんでした。

もう神戸では見れないのでしょうか。

「おっちゃん、水の中で眼、鼻、耳、乳、四肢それに尾はどうしているの……」

このほど大阪天王寺動物園では、カバ水中の生態をお見せしようとして初めて試みとしてガラスプールのカバ舎が完成しています。ハレーションさえ改良すればカバ母子のすばらしい水中生活が見えることでしょう。

## 亀井一成の こども動物相談コーナー

☆野生動物の特徴習性、観察のしかた、

飼育体験などをお答えします。

●日曜日と祝日のみ

●10:00~11:30、13:30~15:00

●動物科学資料館内



たのしい紙芝居やぬり絵クイズが大人気。かわいい動物シールをプレゼント！



いえ、今月はスケジュールが いっぱいで……



は？ りえちゃん と対談？  
来月なら なんとか……



いちどテレビに出てからというもの  
すっかり人気タレントになったな

われわれは すっかり マネージャーで"すよ  
ファンレターの返事の代筆まで  
やってるんで"すぜ"



あ、帰ってきた



まあ、そういうな  
あいつに 食わせて  
もらってるんだから

科学者としての  
こころざしってやつは  
どうなっちゃったんで



あ、おつかれさん  
おつかれさん

なさけない





# 有馬歳時記

ランチタイムシリーズ②

和・洋の色彩を楽しむ



## 月光園鴻臚館・游月山荘

有馬随一の光景にある月光園。滝川を隔てた和の游月山荘、洋の鴻臚館は月光園の代表格でもある。奥田眞社長の新旅館づくりを覗いてみた。

★子宝の象徴「阿福」玉鉾の湯  
月光園は相反する和・洋旅館からなっている。和風建築物の游月山荘は落葉山に、ヨーロッパの古城をイメージさせる鴻臚館は愛宕山に建っている。

両旅館は滝川を隔て、渡り廊



ヨーロッパの古城をイメージさせる鴻臚館

下、月光橋で結ばれている。有馬の清流、春夏秋冬に装いを変える光景は有馬でも随一といつていい。鴻臚館には、この比類ない絶景をガラス越しに眺望できるように、ロビー、バーは吹き抜けにデザインされている。

平成七年十一月、鴻臚館は、従来の旅館とはひと味違った姿で登場した。正面は孔雀、屋根は川をわたる青龍、玄関は白虎、中央のシンボルは玄武（亀）を表現している。「世界に通用する日本旅館」。奥田眞社長が話すように一風変わっている。

館内共通チケットを購入すれば、両館の九つのお風呂を「湯めぐり」も可能となった。游月山荘の二つの金泉露天風呂。男湯「阿福の湯」と女湯「玉鉾の湯」がある。「阿福の湯」の岩祠を覗いてみると、そこには女性器が祀られている。（少し分かりづらいが）女湯の祠には、案の定男性のイチモツが祀られて

露天風呂とご昼食

ひさご弁当

兵衛  
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)



有馬温泉月光園

鴻臚館

K O R O K A N  
TEL (078) 903-2255

姉妹旅館 游月山荘

TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり味に集う

ARIMA

SUNNY SIDE UP  
TENNIS CLUB

TEL (078) 903-1024



橘 有馬  
徳 所 坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

リョウ ふう かく  
陵 楓 閣

TEL (078) 904-0675

TELEX 5627-115

ある。阿福とは、神仏から授かる  
めでたい品、玉鉾とは、邪をさま  
たげる守り神を示す。有馬の湯は、  
有馬筆に象徴され、子宝の湯とし  
て知られている。こんな細かな所  
にも社長のアイディアが生かされ  
ている。

鴻臚館には大浴場「金波の湯」「銀  
波の湯」のほか、「洞窟」（女性の  
み）「檜」「砂岩」の三つのテーマ風  
呂も設けてある。「ファミリータイ  
ム」では、家族連れを対象に、無  
料貸し切りサービスも。

#### ★お昼の人気は松花堂弁当

鴻臚館の人気メニューは、旬の  
味覚を贅沢にとり入れた「松花堂弁  
当」（四〇〇〇円）。日本料亭「弓張  
月」「舟月」の掘りこたつでゆつく

り味わうこともできる。

游月山荘の料理は鴻臚館の価格  
に比べてちょっと高くなるが、本  
格京風懐石料理「游月懐石」「ミニ  
懐石」「游月弁当」とメニューも豊  
富にそろっている。

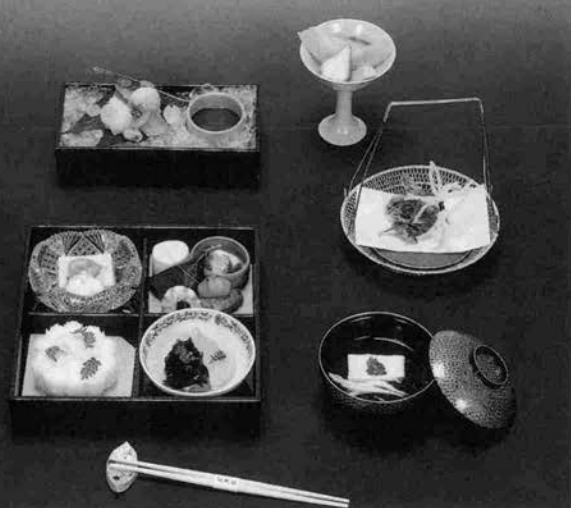
また、游月山荘玄関に掲げられ  
た金屏風に代表されるように、両  
館には絵画、芸術作品の数々がい  
たとところ展示されている。奥  
田社長の斬新な旅館づくりと、絶  
好のロケーションがブレンドされ  
た名宿館だ。

#### ●月光園鴻臚館

松花堂弁当と入浴（六〇〇〇円）  
ランチタイム 11:00～15:00  
078・903・2255

#### ●月光園游月山荘

游月懐石と入浴（五〇〇〇円）/ 10名から  
ミニ懐石と入浴（七〇〇〇円）/ 4名から  
游月懐石と入浴（二〇〇〇円）/ 2名から  
ランチタイム 11:00～14:30  
078・904・0366



鴻臚館人気の松花堂弁当



テーマ風呂の一つ「檜」

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステ  
ーキが楽しめるいろり亭「華庭」で!!  
(昼 5000 円～、夜 8000 円～)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館  
銀水荘別館

ちやうく  
**北楽**

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**

TEL (078) 904-0731

日本の伝統  
数寄屋造りの館

**欽山**

TEL (078) 904-0701

チェックイン 13:00、アウト 12:00  
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

**中の坊珠苑**

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで

**有馬グランドホテル**

TEL (078) 904-0181



# 神戸を福祉の街に

<280>



## 復興への春はまだ遠く

1月17日、大震災から3年目のこの日、被災地を歩いてみた。

三宮の神戸市勤労会館では「三周年メモリアルシンポジウム」が開かれ、公的支援や生活再建についての話し合いが行われていた。参議院議員で災害特別委員の山下芳生氏が国会報告をして「金融機関には30兆円もの公的資金を出すのに、被災者には出さないというのはどうしても納

得がいけない。アメリカやイタリアでは地震直後に被災者に住宅修理の補助金を出している」と説明。シンポジウムで弁護士山の山内康雄氏は「防災は国家の責任だからそれに対する被災については国が責任をとるべき。自然災害は自助でなく共助が基本。自動車事故や冷害には補償があるのに震災にないのはおかしい」等と意見を述べ、午後からは兵庫県農業会館に会場を移して生活再建へ向けての問題や課題が話し合われた。

午後、中央区吾妻通にある旧吾妻小学校を訪ねた。ここでは午前5時半から追悼セレモニーが行われ、兵庫県但東町から送られた6500本の竹筒にローソクを入れ、灯をともして震災で亡くなった人たちへ黙祷を捧げた。校舎の上から見ると校庭に1、17と竹筒が並べられているのがわかる。校庭ではいくつかのボランティア団体が、おもち、炊き込み

橋本 明

〈社団法人家庭看護  
促進協会事務局長〉



旧吾妻小学校の校庭。6500本の竹筒で1.17と描かれている

ごはん、玉子焼き、焼きイモなどの炊き出しをしたり、ハンドベルや吉川太鼓などいくつかのイベントも行われていた。

このあと、JR新長田駅近くの「神戸の壁」に行った。ここでも今朝、追悼の集いが開かれ、壁の前にはローソクと花束が並べられており、カメラをもった人たちが次々に訪れて写真を撮っていた。この壁の近くの



神戸市勤労会館で開かれたシンポジウム「3年後の被災地は」

シンポジウム「3年後の被災地は  
「公的支援実現生活再建と経済復興住宅づくり」  
98メモリアル行動実行委員会

フェンスに沿って、須磨高校の生徒たちが被災地を歩いて書いた文章を壁新聞や絵にまとめてたくさん展示されていたので目を通して回った。その中に次のような詩があった。

「道」 みつお

長い人生にはなあ、  
どんなに避けようとしても  
どうしても通らなければならぬ道  
—  
ものがあるんだな  
そんな時は、その道をだまつて歩  
くことだな

ぐちゃ弱音を吐かないでな  
黙って歩くんだよ、ただ黙って—  
涙なんか見せちゃダメだぜ！  
そしてなあ、その時なんだよ  
人間としてのいのちの根がふかく  
なるのは…

高校生の自作の詩かと思ったら、その横に、菅原商店街のどこかの店



“神戸の壁”の近くのフェンスには須磨高生たちの絵や壁新聞が展示されていた



長田区の鷹取東商店街では住宅の建設工事がすすめられている

でこの詩の額が掲げてある写真が添えられていた。この高校生はたぶん、全焼から復旧した商店街を歩いていてこの詩が目に残り、心に響く何かを感じて写真を撮り、この壁新聞に書き綴ったのだろう。

このあと、長田区野田北部地区を歩いた。全焼した高取東商店街のこの一帯にも少しづつ新しい家屋が建設中だが、まだ空き地の方が多く目につく。震災後4日目にここを歩くと一面に焼け残った鉄や瓦礫の山ばかりで所々に花束が置かれていた光景が思い浮かぶ。

鷹取カトリック教会の前を通るとにぎやかな音楽が聞こえてきた。「エフエムわいわい」の開局2周年を祝うバンド演奏が進行中だった。近くの大黒公園ではお年寄りの夫婦が二人寄り添って散歩をし、子どもたち数人が公園のすべり台で歓声をあげ

て遊んでいた。震災3年目の一日が暮れようとしていた。  
あの日からもう3年という思いの一方、まだ3年か、という気持ちもある。仮設住宅の孤独死が200人近くにも増え、特に注意して心のケアが必要な子どもたちの数も4000人を越え、前年度よりも増えているという。一方、3年経って、総理府の防災に対する世論調査では地震に対する危機意識は低下し、教訓も薄れつつあるという。

街の復旧はようやく7割ぐらいを越えたというのが歩いた実感でもある。復興となるとまだまだの感が深い。被災した人たちの人生の再建もまだこれから始まるところだ。



鷹取カトリック教会で行われた「エフエムわいわい」開局2周年の演奏会